

伊勢湾港湾機能継続計画（伊勢湾BCP）の構成について

- 伊勢湾港湾機能継続計画（伊勢湾BCP）は南海トラフの巨大地震・津波による大規模災害を想定し、広域にわたる被害に対し、関係者の連携により、伊勢湾の港湾物流機能の早期回復に向けて策定するもの。
- 伊勢湾BCPによる港湾相互間の連携を通じ、個別港湾におけるBCPの実効性を向上させる（両者が一体として機能）。
- 第1回検討会議での議論を踏まえ、以下に示す構成（案）を取りまとめた。

伊勢湾BCPの構成（案）

○伊勢湾BCPの目的

○地震・津波による被害の想定

○発災時の広域連携課題の分析（検討上の課題・制約条件の抽出）

航路啓開手順／資機材の調達／燃料の確保／通常貨物輸送にかかる施設復旧

○広域連携課題への対応

役割分担の明確化／連携体制の構築

／通常貨物輸送の回復の考え方（回復目標、優先順位の設定等）

○実効性を高める方策

訓練の実施／PDCAサイクルによる見直し